

「大丈夫だと思っていた」
その先で、何が起きているのか。

入
場
無
料



若年層の性暴力被害予防月間啓発事業

映画上映会

SNS 少女たちの10日間 (エデュケーショナルバージョン)

上映時間66分
2020年公開 (チェコ)



チェコで制作・公開され、若い世代やその保護者を中心に大きな反響を呼び、チェコ国内で社会的な議論を巻き起こしたドキュメンタリー映画。

成人女性3人が12歳の少女になりすまし、SNS上でのやり取りを通して、子どもたちが直面するインターネット上の危険を検証する。

専門家の見守りのもと行われた社会実験から、SNSの向こう側で何が起きているのかが明らかになる。

何気ないやり取りが、どんな危険につながるのか。自分の身を守るために知っておきたい現実が描かれる。

今のSNS環境の中で、子どもたちが置かれている現実を、世代を越えて考えるきっかけとなる。

4月18日(土)
10:00~11:30

ウィズあかし学習室704
(アスパア明石北館7階)

対象

中学生以上の方

SNSやインターネットとの関わりについて
考えたい保護者の方

小・中・高校の教職員の方

若年層の性暴力被害予防に関心のある方

※本作は劇場公開時に15歳以上視聴可能だったバージョンから、実際に危険に遭うかもしれない子供たちが視聴できるよう監督自らが再編集した小学6年生(12歳)以上が視聴可能なエデュケーショナルバージョンになります。

※本作品は12歳以上向け(PG12)です。

※場面によっては刺激を強く感じる場合がございます。

監督: バーラ・ハルポヴァー、ヴィート・クルサーク

原案: ヴィート・クルサーク

出演: テレザ・チェジュカー、アネジュカ・ピタルトヴァー
サビナ・ドロウハー

字幕翻訳: 小山 美穂

字幕監修: 牧野スザナ

配給: ハーク

配給協力: EACH TIME

定員60名(先着順)

2月17日(火) 9:00~4月16日(木) 17:00受付

つながる、みつかる、うまれる 明石市生涯学習センター
あかし男女共同参画センター
あかし市民活動支援センター
ウィズあかし